

402456

滿洲國及中華民國視察報告

步兵第十二聯隊中隊長

陸軍步兵大尉 福山芳夫

ハ何ヨリモ先ツ此第一ニ治安ノ維持ナリ因テ軍ハ討伐スルヤ直ニ之ト始ト  
時ヲ同クシテ一面ニ於テハ治安ノ強化(人員ノ選定整理編成ノ確立  
教育訓練等)ニ努メ他面ニ於テハ行政ノ對シテハ適任ナル大官ヲ授クニ之  
カ指導ニ任セシメツ、イリ  
カクテ軍ノ匪賊討伐トモ併該地方ニ對スル政治工作ハ相平行ニ緊密  
ナル連繫ヲ下ニ身負施セラレ以テ永遠ノ治安維持ヲ確立スルト共ニ般  
行政ノ善及徹底ヲ圖リツ、イリ

### 第五 滿洲國ニ對スル日本移民

#### 一 滿洲移民ノ重要性

日滿兩國ハ地理的ニ歴史的ニ民族的ニ將又軍事のニ極メテ緊  
密重要ナル關係ニ在ルモノハ今更ニ其ノ重要ナル所ナリ其ノ一ニテ特ニ吾人  
ノ注意ヲ要スルハ歴史的關係ナリトハ蓋シテ吾人ノ習ヲ稽シ且清日紛争ノ後  
ハ兩國間ニ於テハ日滿直ニ於テハ滿洲國ニ對シテ其ノ關係ニ對シテ數ハ難ク幾

402522

多ク關係ナリト以テ今日ハ其關係ヲ明瞭ニ察スルニ先々吾人ノ兩國ニ對シテ  
滿洲國ニ對シテ其關係ノ重要ナル所ナリトハ蓋シテ吾人ノ習ヲ稽シ且清日紛争ノ後  
ハ兩國間ニ於テハ日滿直ニ於テハ滿洲國ニ對シテ其ノ關係ニ對シテ數ハ難ク幾

ニ新興滿洲國ノ進歩發達ヲ期スルト共ニ大和民族ノ大陸進出ニ策  
ニ更ニ大ニ亞細亞民族ノ爲メ身負其責任ニ務メ海外雄飛ノ大使命ヲ遂  
成スルノ覚悟ヲ必要トス滿洲國ニ對シテ大和民族ノ大陸進出ノ機會ヲ與  
フルト共ニ其ノ進歩ノ必要ヲ再ニ新ニ認識セシメシモト謂ハル可カラス又滿  
洲移民ハ大和民族ノ大陸進出ノ中核ヲ形造リ對滿政策ノ基礎トナリ  
大陸政策ノ根幹トナスニト確信ニシテ疑ハルハ第ナリ

#### 二 滿洲移民ノ可能性

滿洲移民ニシテハ滿洲國ニ對シテ其ノ關係ニ對シテ其ノ關係ニ對シテ其ノ關係  
論アテ悲觀論アリ必要論アリテ種々論議ハレモ今日ニ於テハ必然的  
ノ重要性アルニシテ其ノ可能性不アルトハ漸次認識セラル、ニ至テ滿洲國

民ノ貸行ヲ急務トシテ略圖論トシテ解一スルニ至リニテハ國庫ニ爲  
祝儀ニ堪ヘサル所ナリ只ク少數ノ人々ノ間ニ幾分ノ疑問ヲ懷キ尙ホ未ダ  
之ヲ試驗時代ト看做サントスルモ滿洲移民ハ最早試驗ノ時機ニ  
アリスニテ正ニ其ノ貸行ノ時期ニ入レリ以下簡單ニ其ノ可能ノ理由ノ  
ニテテ述テハ在リ如シ

理由

一 氣候風土大陸的ニテ寒暑者天ニ激ニテ夏期暑キ期間ハ比較的  
緩カラシク寒氣激甚ナルモ積雪少ク天能ク晴レ又地上水分少ク空氣  
モ乾燥ニ實ニ心地良キ所ニ爲テ設備クニ整ヘ何等障礙ノ成ラズ  
國ノ東北地方、北海道、樺太等ニ略シ同ニ狀態ニナリ  
又土地ハ平坦ニテ農牧ニ適スル土地極メテ廣闊ニテ殊ニ可耕適地ニ  
テ未開墾ノ土地亦少カシク地味又肥沃ニテ處處ニテ六穀兼作  
科トモモセル狀況ニテリ里農作物ノ生育ハ夏季日照時ノ長キ爲メ  
甚ニ可シ

不備ニシテ、開墾ノ急務ニシテ、本ノ國ニ於テ、移民ノ利便ヲ爲スルニ、  
一、開墾ノ向ホ未ダ、我ニ爲テ、爲シ、爲シ、爲シ、爲シ、爲シ、爲シ、  
至ル可シ

一 尙租權ノ問題ニ今春解決セラレ單ニ南滿洲地帯ノミテハ北滿  
ノ地帯ニ並擴張セラレタリ  
一 生活方法ト衣食住共ニ其ノ土地ニ適シタル方法ニテテ必要ナル區別  
ニ大ナル不便ナシ

一 先住民族トノ關係ニ於テハ多少生活程度ノ差異アルモ決心次第  
ニテ是レ亦克服スルコトヲ得ヘシ  
然レ共彼等ニ打テ勝ツニ爲メニ移民者其ノ人ノ強健ナル體能ト固  
苦欲之ニ堪ヘ得ル不撓不屈ノ精神ヲ絕對條件トナスニテハ勿  
論ナシモ尙ホ其他ニ若干ノ助成策ヲ採ルノ必要ナリ

一 滿洲農業移民ノ生産物ハ内地農業生産物ト互換スルノ上、農産物  
ハ冬季冰雪ノ閉サレタル期間、其ノ土地ニ應ジテ適宜ナル副業ヲ獎勵

二 又修養ノ期間ニテハ利用ニ有效ニ過ル方法ヲ工夫スルヲ得ヘシ  
 三 我國ト滿洲國トノ接近ニ在リテ近距離ニ在リ況ニヤ交通關係ノ良好志  
 志ヲ邦人進出ヲ容易ナシムルモノニテ移住ヲ促進可能ナラシムル  
 有力ナル一理由ナリトス

三 滿洲移民事業ノ統制

種々ノ機關ニヨリ滿洲移民事業ヲ指導ニ實行ナルコトハ數年多クニ  
 于テ益ムル所少キヲ以テ閣東軍令ニ依リ鐵道ニ所テ八年二月軍特務部内ニ  
 軍務課部ヲ特務部ト大改組總領事館、拓務省、朝鮮總督府  
 閣東鐵道ヲ打テ一カニシテ移民部ヲ編成シ以テ滿洲ニ於テ日本人  
 移民事業ノ統制及指導ヲ行ハシメテ之ヲ實行ニ當ラシメテリ

四 移民部業務ノ實施概略

以下移民部所屬各課ノ業務ノ實施ニ關シテ之ヲ詳述スルニ當リ

402524

トノシテ之ノ別ニ略述ス  
 人ニ至テ是ノ事項

- (一) 日本人移民實施施要綱案
  - (二) 滿洲移民協會設立案
  - (三) 内地人自由農業移民助成方案
  - (四) 移民訓練施設設置案
  - (五) 日本人移民實行機關ノ設立並ニ期間ノ制定方案案
- 又 實行事項
- (一) 第一次特別移民
  - (二) 第二次特別移民
  - (三) 移住適地調査
  - (四) 哈爾濱近郊ニ於テ日本農業村計畫
  - (五) 吉長、吉敦及扶綏線沿線移民計畫
  - (六) 在滿鮮人ノ安全農村計畫

(山)其他ノ移民計畫

五、支那人ノ入國制限

滿洲事變前ニ於テ支那人ノ滿洲ニ渡來セルモノノ年約百万人ノ多  
キニ達セシトナリ今後ニ治安ノ回復ト共ニ更ニ層多敷ク渡來ヲ見ルニ  
シ然ルニ支那人ノ多數ノ渡來ニ滿洲國ニテ可民衆ノ生活安定ノ脅  
威タルノミナラス邦人移民ニ對スル一障礙ナルヲ以テ相當之制限ヲ  
必要アリ然ルニ滿洲國ニ建國當初ニ於テ機會場等門戸開放ノ大方  
針ヲ中外ニ聲明セルヲ以テ支那人ニ對シテノミ特殊ノ差別待遇ヲス  
ルニ難ナリヨリ滿洲國政府ハ地方ノ方針ヲ斟酌シ入年六月外國人取  
締規則ヲ制定發布シ入國禁止ノ方針ヲ決定ス尙ホ又特ニ山東省  
力者ニ對シテハ特種ノ獎勵稅制機關ヲ設置シ之ヲ統制スル方法ヲモ  
工大ナリ

42525

本邦小資本家ノ渡來ニ對シテハ  
ハ重要ナル

往來新ノ移民ハ移住省ニ關東東軍ノ共ニ保護補助セラルルニ  
民ニシテ本移民ノ成否如何ハ我カ滿洲國發展ニ移民ノ發見ト云  
フニ過ラズニテハ東軍ハ主トシテ武裝警察ヲ補助シ其他ハ一切稅務  
省ニ於テ補助セリトナリ

六、沿革

本移民ハ元來ハ富谷鉄夫少佐ト關東東軍ノ右原廣爾大佐  
トノ確立允協議ニヨリ關東東軍及日本政府ニ懇請ニ送リニ實行セラ  
ルニ至リシモノニシテ特ニ本移民ノ成立セシハ富谷鉄夫氏ノ獻身的  
奉公心ニ依リテノ願ルル多ク

七、目的

國防上ノ見地ト國內人口問題ノ解決ノ爲メ

八、移民ノ順序

第一移民 五右左 七年十月渡海住本館。冬管 八年前水産係(新編) 第二移民 五右左 八年前住本館。到本館 同日未七虎力入住(水産係) 六移民 性質

元來關東軍ノ關係ニアルモノニアラズ唯ク單ニ現役將校ノ一部ノ者ト極力 省トシ合作ニ成ルモノナルモ放置ニオケル早晩失敗ニ至ルノ虞アリ以テ折 商ノ此ノ國家的事業ハ必ズ來得ル限リ援助スルノ必要アリト目下軍 於テモ國防上經濟上ノ基地ヨリ保護並援助ヲ加フルコト至リモナリ 本移民ノ性質

元來文化ノ高クナリ低クニ流ルト同様勞働力ハ低ク高クニ向ヒ 進ムノ一般經濟原則トス 然ルニ本移民ハ先々高クナリ低クニ向ヒ勞働力ヲ進ムルモノニシテ是 一般經濟原則ニ反スルモノナリ 從テ本移民ニシテ成テモ又發達スルル爲メ大ニ援助ヲ必要 ナルナリ

402523

元來關東軍ノ關係ニアルモノニアラズ唯ク單ニ現役將校ノ一部ノ者ト極力 省トシ合作ニ成ルモノナルモ放置ニオケル早晩失敗ニ至ルノ虞アリ以テ折 商ノ此ノ國家的事業ハ必ズ來得ル限リ援助スルノ必要アリト目下軍 於テモ國防上經濟上ノ基地ヨリ保護並援助ヲ加フルコト至リモナリ 本移民ノ性質

甚力ニ月ノ生活費 約 五円 日本人労働者 一月ノ生活費 約 十五円乃至 二十円

只移民團ノ組織

(一) 隊長 市川中佐

(二) 幹部ト移民トノ精神的關係

(1) 移民ハ此處ヲ農場トセルニ及ビ幹部ハ必ズニモカク真誠ニ考ヘテラ 必要ナル何時ニシテモ歸國セシメテ底意アリ

(2) 移民ニ六月五日ノ補助金ヲ給セルノミルモ幹部ニ度々俸給生 活ヲナシヤリ(小隊長以テ幹部)

(三) 經濟組織

本移民團ハ共産組織トナシヤリ從テ精神素質不良ノ者ハ

努力せんと欲すに一般者ノ積極的活動ヲ鈍クシテ居リ

(四) 独身者ノミヲ以テ組織セリ

又開拓地

(一) 面積四百町歩

(二) 支那人ノ耕作ニテリシモノヲ使用セルモノニテ未墾ノ地ヲ開墾セシモノ

ニテラオルヲ以テ真ノ移民トシテテ試驗ニテラス

又本移民ノ成績振ハサル理由

(一) 幹部ノ備制度ノ不可

(二) 移民ノ欠乏

(一) 一獲千金ヲ夢ミ理想ト現安具トノ大ナル差異ニ失望

(二) 開墾セシモノヲ賣却シ内地ニ歸ルモノ可ナリ信ノ不徹底ナル者ハテ

之を懲罰セラルイリ

の爲メ失敗ナルモ政府ハ人口調節ノ必要上他ニ職業ヲ斡渡シテ

ニテテリシモノヲ救済心ヲ大ニシテ居リ

(四) 米倉庫主ヲ救フ不可

(五) 日原生活ノ道ヲ開

経済的見地ヨリ本移民成立ノ困難性

(一) 移民地ノ生産農産物ハ大豆ニシテ一石ノ収入時價約三円

(二) 開拓地積缺少

一入當リ第一年度五町歩、第二年度五町歩、第三年度五町

歩 計十五町歩

(三) 拓務省ノ補助ノ不徹底

拓務省ハ補助金ヲ最初ノ十月ノ三支給ノ予定ナリシモ此レシテハ不

可(獲得ノ結果謝ラズニ一年延期支給スルニ決セリ)

以將來ノ移民ヲ顧慮シ移民地ノ準備

拓務省ハ將來ノ移民ヲ顧慮シ山縣ニ約八十万町歩

松花江沿岸ニ約百五十万町歩ヲ購入シテリ

402527

七、移民之經驗ニ鑑ミ對シテ移民上願慮ヲ要ス可キ件  
 八、移民地ノ選定

軍事上、經濟上、生活上

九、移民ノ選定 (自選至義ナルニテ要ス)

(一) 家族移民ノ原則

(二) 農業ノ經驗ヲ有ス

(三) 身體強健志操堅確ナルコト

(四) 農家ノ子弟 (三十才乃至四十才ヲ理想)

(五) 係累少キコト

(六) 相當ノ精神全ク有ルコト

(七) 特別移民ニ在リ得身人ヲ以テ組織ニ普通移民相當數ノ在リ得

人ノ以テ要スルヲ

(八) 血縁同鄉等特種關係者ヲ有スル者ニ至リテ以上ノ以テ強固ナル團結ヲ要ス

大體而シテ一移民者ニ至リテ其志氣ノ強弱ハ其ノ人ノ才力ニ依リテ異ナルヲ見ルコト  
 大體而シテ一移民者ニ至リテ其志氣ノ強弱ハ其ノ人ノ才力ニ依リテ異ナルヲ見ルコト

人ノ日常生活ヲ更ニ之ニ低下スルコト

又交通、通信機關ノ整備

八、娛樂、慰安機關ノ設置

九、治安ノ確立

一〇、栽培品種ノ選定

一〇、適當ナル副業ノ獎勵

及最初三年間、相當政府補助

一〇、社會的施設ノ整正

神社、村役場、小學校、醫院、適當ナル娛樂機關

一〇、産業的施設ノ整備

村ヲ以テ産業組合ノ單位トス

農事作業、農業金融、生産物ノ加工販賣、需用品ノ購



入等之関スル事業ヲ出来得ル限り協同化スル方針ヲトルト  
以村落ノ整備施設致

特別移民ニ對シテハ特ニ整備指導員ヲ配置

普通移民ニ對シテハ村民タル在御軍人ヲ以テ其指導ヲ爲シ  
自衛上必要ナル武器器ハ柯レモ之ヲ貸與ス

以移民ノ農業經營

出来得ル限り自發努力ヲ中心トシ自給自足ニ支脚ニシテ自  
作農經營ニ別ラシム

以政府ノ補助

(一) 移民其ノ者ニ對シテ旅費、初年度生活費、家屋建築費  
家畜及農具購入費ノ支給

(二) 移民團ニ對シテハ教育、衛生、整備、產業等ニ必要ナル費用  
ヲ補助ス低利ノ土地購入ヲ便宜農資金融通ノ道ヲ講ニルヲ  
又農業及整備指導員ノ扶養其ノ居住ニ便宜ヲシム

402529

ハ滿洲移民ノ實行ハ極ニ慎重ノ態度

思フニ滿洲移民ノ種々ノ否ナリテ有然モ其相尙固執スル状態ニイリト  
莫モ決シテ不可能ノ問題ニイラズルニオラス總對的必要條件有セリ  
故ニ直ニ之カ實現現ニ向ヒ勇往邁進スヘキ理ノ當然ナリ

然ルニ我カ拓務省ハ徒ラニ逡巡躊躇ニ其大陸政策ノ根本方針ヲ  
確立シ百年レ大計ヲ定ムルニ當リ其熱意ト勇氣トヲ欠ケル如  
キ感ヲ懷カシムルコトハ誠ニ遺憾ノ至リト謂ハサル可カラズ

滿洲移民實行ノ總好機會ハ今日ヲ措イテ又之ヲ他日ニ求ムルコトハ  
願ル難事ナリ

抑我國ノ滿洲問題ノ爲ニ幾何ノ犠牲ヲ拂ヒタルハ最早既言ヲ  
要セザル所ナリ上陛下ノ御後威ト下志勇ナル皇軍將士ノ奮闘國  
民一般ノ熱誠ナル後援トハ遂ニ滿洲ニ於ケル我カ特殊權利ヲ確保シ更ニ  
滿洲國ノ独立ヲ出現シ三千萬民衆ノ福祉ヲ増進スルト共ニ東洋和  
平ノ基礎ヲ確立シ大和民族大陸進出ノ機運ヲ醸成セリ

今マ大和民族ハ富ニ大ニ大陸ニ進出スヘキ欲アリ願ミルニ我國  
ハ内ニ於テ人口食糧問題、失業問題、農村救済、思想對策等  
時局區救ノ為メ必死ノ努力ヲ拂ヒツ、アリ然レ共是等國內的諸  
問題ハ滿洲移民ノ實行ニヨリ其ノ大部分ヲ解決スルヲ得ヘシ宜  
シク我國朝野ヲ警ケテ滿洲東渡ノ真意義ヲ疏解シ滿洲事  
業ノ成果ハ滿洲移民ノ實行ニヨリ大和民族ヲ大陸ニ移植スルヲ  
ニ依リテノミニ之ヲ完ウシ得ヘキモノナルヲ確信シ政黨政派ヲ超越  
シ各階級ノ區別ナク又中々地方ヲ選ビ舉國一致以テ其ノ實行ヲ策  
スヘキナリ

### 第六 關東軍ノ近況

一日不介敬龍軍態勢ヲトリ各部隊ニ警備區域ヲ擔任セシメ各之警  
備ニ任セシメツ、アリ

目下此ノ多月ノ間ニ於テ是處ニ進シ居ル討伐ノ為メ準備ノ力ヲ集メテ

402530

アリ爾レハ今多月來イ以テ各隊ノ討伐準備ヲ了シ四月ヨリハ隊ハ各自  
ノ任務ニ歸リ並ニ將來ノ作戰ヲ願フ慮シ集中配置ニ務メ軍本來ノ訓  
練ニ精進スル由

ニ在滿將兵ハ實ニ真劍味ナリ身命ヲ賭シテ國是國策軍ノ使命  
ニ邁進シツ、アリ極寒ノ滿蒙ノ原野ニ其ノ雄々シキ少女ヲ見ル時真ニ淚  
ナキ能ハス日夜粗衣粗食ニ甘シシ繁榮激ナル勤務ニ志シテ從事シ而カモ  
零下三十度ノ祁寒ト闘ヘル態ハ是レ正ニ皇軍ノ精華ナリ

ニ分散配置ヨリ專ラ治安維持ニ任セル關係上近ニ將來ノ為メノ對某軍  
戰斗法ノ訓練ハ殆ト毎實施セラレラス

四現地ニ於ケル初年兵教育ハ頗ル順調ニ進ミアリ又騎兵集團ノ如ク初  
年兵ニ對シテ養成教育ヲ實施セルモ之の結果ハ頗ル良好ナル成績ヲ  
収メアリ